

平成25年度事業報告書（平成25年10月1日～平成26年3月31日）

平成25年10月1日に発足した公益財団法人として、旧財団法人が平成25年度に計画した事業の残事業を執行した。

以下、当法人が平成25年度（10月1日～3月31日）において実施した事業について報告する。

I 事業の状況

1 全般的な事業の状況

種苗の生産・供給は9月まででほぼ終了していたので、残っていたアワビ、クルマエビそれにクロソイの3魚種の供給を行った。

アワビについては平成25年度1年を通してみると、前年比3万8千個ほど需要が落ち込んだ。

クルマエビは県内需要は減り続けているものの、県外需要は前年比133,500尾増の694,000尾と増えている。

放流効果実証事業については種苗の放流は終えていたので、市場調査を実施した。

2 各事業の状況

(1) 種苗生産供給事業

① アワビ

配布時期	10月8日～11月16日		
配布種苗	平均殻長	20mm	44,000個
		30mm	157,500個
	計	20~30mm	201,500個

② クルマエビ

配布時期	10月1日		
配布種苗(県外)	平均全長	25mm	394,000尾

③ クロソイ(養殖用)

配布時期	10月18日		
配布種苗	平均全長	80mm	1,250尾

(2) 放流効果実証事業

- ① 放流効果調査及び資料集計
マダイ・ヒラメの市場調査

期 間：平成25年10月1日～平成26年3月31日

(3) 種苗飼育業務受託事業

秋田県水産振興センターで飼育している魚類等の飼育管理
トラフグ、親ヒラメ、親マダイ、ワムシ、アユ

(4) 栽培漁業啓発普及事業

協会ホームページで事業内容等の情報を発信した。

(5) 復興支援事業

東日本大震災で栽培施設が被災した（公財）宮城県水産振興協会の要請で職員4人を技術研修員として受け入れ、栽培技術や施設維持管理手法の習得に対応、平成25年12月20日に研修を修了し、帰県した。